

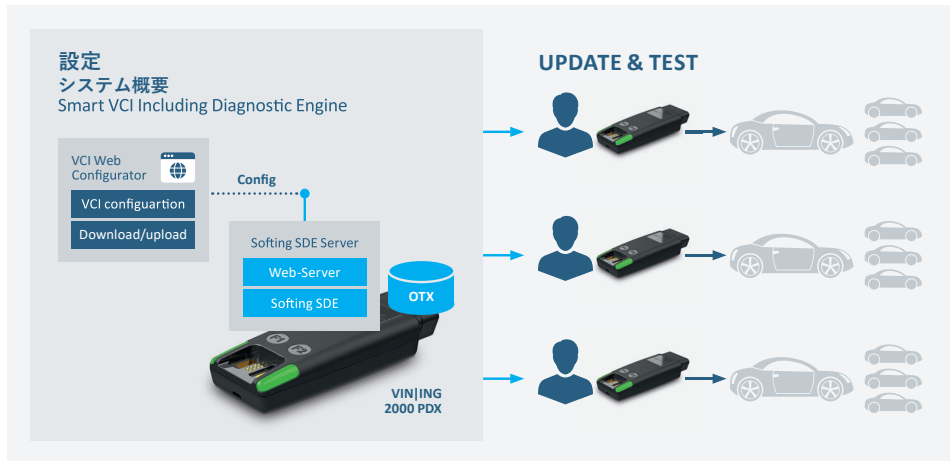
VIN|ING 2000 PDX

VI-BA-2400

コンパクトなスタンドアロンタイプの診断ソリューション

optimize!
softing

VIN|ING 2000 PDXはSoftingのSDEを適用した診断テスターが実装された車両通信インターフェイス(VCI)です。PCが不要なためどこでも簡単に使用することができます。



予備知識不要 --- ECUプログラミング

VIN|ING 2000 PDXを使うことで経験の浅いユーザでも車両のプログラミングを簡単に実行することができます。やることは、このVCIを車両のOBDジャックに挿入し、前もって定義したプログラミングシーケンスをスタートするだけです。そのプロセスはRGBのLEDによって制御されます。典型的なユースケースは、多くの車両のアップデートが必要なパーキングロットでのフラッシュです。また、このソリューションは、テストドライバーが休憩中に自動的に新しいソフトウェア・バージョンをECUにロードできるロードテストでも効果的であることが証明されています。新しいソフトウェアはバリューチェーンに沿って頻繁に車両または個別のECUにロードする必要があります。PC上で診断ソフトウェアを実行し、VCIを使用する通常の手順 - ケーブル、ワイヤレスまたはリモート接続はソフトウェアアップデートの開始の障害となります。その場合、ソフトウェアが複雑すぎたり、PCなど全体的な設定が高額になる可能性があります。

車両のステータスをリード - ON THE FLY

ロードテストでは VIN|ING 2000 PDX の2つ目の強み：事前に定義したクイックテストの実行が可能です。例えば、ロードテスト中にVCIを車両に挿入しエラーメモリエントリを周期的にチェックすることができます。テスト走行の前後に明示的に呼び出してエラーメモリやECUソフトウェアの内容を記録することもできます。クイックテストに追加し、自由に実装可能な診断テストを実行することもできます。ユーザがやるべきことはOTXシーケンスを診断プロジェクトに統合しファンクションキーに割りつけるだけです。これは必要に応じていつでもスタートできます。結果はPCアプリケーション経由で簡単にダウンロードし、アーカイブすることができます。

アプリケーション

- 開発フェーズの複数ECUのステータスをチェック
- ポストプロダクションでの車両プログラミング
- ロードテストでの診断テスト
- ロードテストでのECUアップデート

メリット

- 簡単な操作
- いつでも持ち運べるコンパクトなソリューション
- 既存の機能とでデータを転用
- 特定シーケンスのを自動で実行
- OTXシーケンスによる診断テストの全般的な自由度



AUTOMOTIVE

automotive.softing.com

テクニカルデータ

筐体	ポリアミド製筐体, 135 x 50 x 25 mm
電源	7 ... 32 V 車両診断コネクタ経由
消費電力	300mA --- 12V, (操作モードにより)
マイクロコントローラ	1 GHz ARM Cortex CPU with Realtime Co-Prozessor
内蔵メモリ	256 GB
PC インターフェイス (機器設定のため)	USB V2.0 high-speed, 480 Mbit/s via optional USB cable LAN 100 MBit/s via optional LAN cable WLAN WiFi 5 (IEEE 802.11 a/b/g/n/ac), 300 MBit/s (Infrastructure and Access-Point)
車両インターフェイス	ISO 15031-3 診断コネクタ搭載
CAN	2 CAN チャンネル --- CAN FD high-speed in acc. with ISO 11898-2
ISO 9141-2	2 K-Line channels for 12V and 24V vehicle systems; one K-Line usable as L-Line (on request)
Ethernet/DoIP	Ethernet 100Base-TX, Ethernet Activation Line according to ISO 13400-3
デジタル入力	Ignition (KL 15) Two capacitive buttons, movement detector (use depends on the operating software)
ステータス インジケータ	2 RGB light diodes for optical signaling (programmable, use depends on the operating software) Acoustic signaling (programmable, use depends on the operating software)
パワーマネジメント	設定可能な stand-by モード <1mA (use depends on the operating software) Wake-up on: CAN, KL 15 and motion sensor
温度範囲	操作温度 -20 ... +50 °C, 保存温度: -20 ... +85 °C
保護等級	防塵、防水 IP52
EMC 適合性	Compliant with RED Directive 2014/53/EU and FCC Part 15 Subpart B
無線認証	EU諸国, 中国, メキシコ, インド, 日本, 米国 その他の国についてはリクエストにより
ソフトウェア・インターフェイス	D-PDU API according to ISO 22900-2 for Windows and Android (Linux and iOS on request), 対応するプロトコル: - UDS on CAN - UDS on IP (DoIP) - KWP2000 on K-Line (on request) PassThru API (SAE J2534-1 for Windows) 対応するプロトコル: - Diag on CAN - CAN RAW - KWP2000 on K-Line (on request)

オーダー情報

VI-BA-2100	VIN ING 2000 WLAN/USB対応 OBD2コネクタ (ISO 15031-3)実装 2 x CAN / CAN FD(high-speed bus physics), 2 x K/L-Line ISO 9141(-2), Ethernet (for DoIP) D-PDU APIソフトウェア (ISO 22900-2 for UDS on CAN and UDS on IP)含む
ZB-KA-1010	MagCode Adapter with USB cable for VIN ING 2000
ZB-KA-1020	MagCode Adapter with Ethernet cable for VIN ING 2000

VCIとして使用する場合の関連製品

Softing SDE	Smart Diagnostic Engine - 全体のライフサイクルに関連する診断機能、診断シーケンス、診断サービスのための独立したランタイムシステム
Softing DTS	診断ツールセット: 国際的なスタンダードをベースとする一貫性のある診断機能とシーケンスの作成が可能
Softing TDX	診断とフラッシュプログラミングに最適なフレキシブルなツール(モバイル、定置用として使用可能)
Softing VCF	車両通信のアプリケーションのための強力なミドルウェアとしての車両通信フレームワーク
VC-SB-1000	VCF サーバベースの API